

平成29年度一般会計予算の特色

予算編成方針

1 予算編成の基本的な考え方

平成29年度予算編成は、これまでの取組の成果を総括し、町民の負託に応えるため、次世代に誇れる竜王町を創る施策を力強く推進していくこととする。

あわせて、非常に厳しい財政状況であることを真摯に受け止め、将来を見据えた健全な財政運営を行うため不足財源の縮減を図るとともに「活力溢れる強いまちづくりに繋がる施策への集中、予算配分の重点化と効率化」を全庁挙げて取り組む必要がある。また、不足財源の縮減に向け歳出の削減はもちろんであるが、歳入の確保に向けた取組による縮減も重要であるため、積極的に新たな財源を開拓する努力を行う。

2 基本方針

平成29年度は、第五次竜王町総合計画の前期期間の評価と分析結果により得られた課題を踏まえ、町民の内発的な力を育む住民本意の「“ひと”育ち みんなで煌く交竜の郷」を実現するため、施策の具現化をさらに図り目標の達成に向けた取組を進めるものとする。あわせて、平成28年3月策定の「竜王町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策の展開についても一体的に推進するものとする。

ついては、第五次竜王町総合計画の基本理念である以下の4項目を基本項目として、縦割りの組織に捉われず関係部局が共通の課題と目標を持ち、連携・協力等を行い、横断的に取り組み、組織の力を最大限に発揮していくこととする。

特に、「次世代に誇れるまち創り」を具現化すべく5つの基本政策に基づく施策については、重点施策として着実に推進していくものとする。

3 第五次竜王町総合計画の基本理念

- (1) 豊かな自然と歴史を誇れるまちづくり
- (2) みんなが安心して暮らせるまちづくり
- (3) チャンスを活かすたくましいまちづくり
- (4) 町民と行政の協働により築くオリジナルのまちづくり

4 5つの基本政策

- (1) 成長戦略の策定、実践・実行
- (2) 教育・福祉・医療・社会インフラの充実
- (3) 魅力ある農業の創生
- (4) 安全安心のまちづくり
- (5) 高品質の行政サービスの提供

予 算 額

一般会計の総額は、55 億 8,600 万円とし、前年度に比べ 6 億 5,500 万円の減、率にして 10.5%の減としました。

前年度当初予算に比べて減少した要因としては、防災基盤整備事業について、北東部地区防災拠点施設である水防施設の整備に係る事業費 4,650 万円の増、八日市布引ライフ組合の負担金として斎苑施設新築工事の着工により施設整備負担金 2,551 万円の増、新たな自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化に係る費用として 2,358 万円の増、中学校卒業までの医療費を 10 月から無償化することに伴い福祉医療扶助費が 1,413 万円の増加としたものの滋賀竜王工業団地造成に係る事業費が 5 億 5,877 万円の減、畜産競争力強化対策整備事業が 1 億 2,195 万円減、農林公園施設管理事業について、駐車場トイレ設置工事等の減により 2,139 万円減、妹背の里屋根修繕工事完了等に伴い妹背の里管理運営事業が 1,854 万円減とそれぞれ減少としたことによるものです。

[歳 入] (主なもの)

町 税 27 億 4,380 万円 (1 億 2,713 万円、4.4%減)

町民税法人均等割について 700 万円、10.1%の増加、町たばこ税について 500 万円、3.8%の増加を見込む一方で、町民税法人税割は、国内外の様々な情勢等により 1 億 2,500 万円、42.4%の減としました。

地方譲与税 4,700 万円 (100 万円、2.1%減)

総務省推計値および直近数年間の歳入傾向等を踏まえ減としました。

株式等譲渡所得割交付金 600 万円 (500 万円、500.0%増)

総務省推計値および直近数年間の歳入傾向等を踏まえ増としました。

地方交付税 2 億 5,000 万円 (9,800 万円、64.5%増)

平成 27 年度から 3 年連続で普通交付税の交付を受ける見込みとなることから、特別交付税を含めて増としました。

使用料及び手数料 3,285 万円 (146 万円、4.6%増)

幼稚園において 3 歳児の預かり保育を開始するため使用料を増としました。

国庫支出金 5 億 3,546 万円 (2 億 2,177 万円、29.3%減)

土木費において滋賀竜王工業団地造成に伴うインフラ等整備に係る事業費の減少に伴い 1 億 9,924 万円、74.0%の減少、また臨時福祉給付金の給付事業のうち平成 27 年度国補正予算にて新たに設けられた低所得者の高齢者向けの給付金が終了したことに伴い 1,290 万円、32.3%減少すること等により減としました。

県支出金 4億1,522万円（1億2,890万円、23.7%減）

畜産競争力強化対策整備事業費補助金を皆減としたこと等により減としました。

繰入金 2億9,061万円（3,724万円、11.4%減）

財政調整基金繰入金2億2,496万9千円（12.5%減）を計上しました。

諸収入 2億6,875万円（3億6,096万円、57.3%減）

滋賀竜王工業団地整備に係る事業費の減額等により減としました。

町債 4億7,350万円（1億1,530万円、32.2%増）

適正な町債残高の維持に留意しつつ、将来の住民に渡って等しく負担を求めるべき経費への充当分として、また普通交付税の交付を見込むことに伴う臨時財政対策債3億7,000万円を計上しました。

[歳出]

《 目的別 》

議会費 7,641万円（82万円、1.1%増）

人件費の増等により増加しました。

総務費 7億3,910万円（3,360万円、4.3%減）

電算一般管理費（情報セキュリティ強化対策整備）、一般管理（公会計財務書類作成・活用支援業務等）等が増加したものの、妹背の里管理運営事業、公共施設等総合管理計画策定事業、総合庁舎維持修繕事業等が減少しました。

民生費 16億1,611万円（1,871万円、1.2%増）

障害者施設整備等事業、臨時福祉給付金事業、児童手当等が減少したものの、福祉医療費助成事業、自立支援給付費、保育所運営費等が増加しました。

衛生費 4億5,019万円（557万円、1.3%増）

墓地緑化等環境整備モデル事業等が減少したものの、八日市布引ライフ組合（斎苑）負担金および中部清掃組合負担金等が増加しました。

労働費 1,065万円（0.6万円、0.1%減）

勤労福祉会館管理費の減等により減少しました。

農林水産業費 3億252万円（1億6,618万円、35.5%減）

県営日野川土地改良事業等が増加したものの、畜産競争力強化対策整備事業、農林公園施設管理事業、多面的機能支払交付金事業および日野川流域土地改良区負担金等が減少しました。

商 工 費 7,051 万円 (2,889 万円、69.4%増)

ふるさと竜王夏まつり実行委員会補助金および職員の人件費等が増加しました。

土 木 費 7 億 9,952 万円 (5 億 4,511 万円、40.5%減)

総合運動公園管理運営事業等が増加したものの滋賀竜王工業団地の整備に係る事業費等が減少しました。

消 防 費 2 億 8,216 万円 (4,218 万円、17.6%増)

防災基盤整備事業および東近江行政組合消防負担金等が増加しました。

教 育 費 6 億 6,572 万円 (374 万円、0.6%増)

竜王西小学校施設整備事業および竜王小学校施設整備事業が減少したものの、通学自動車管理運営費等が増加しました。

公 債 費 4 億 6,847 万円 (51 万円、0.1%減)

元金は増加したものの利子が減少しました。

諸 支 出 金 9,920 万円 (952 万円、8.8%減)

竜王町立竜王小学校改築基金への積立金等を減少しました。

《 性質別 》

人 件 費 12 億 3,576 万円 (5,466 万円、4.6%増)

職員数の増加および育児休業職員の復帰等により増加しました。

物 件 費 9 億 501 万円 (2,127 万円、2.3%減)

情報セキュリティ強化対策整備（電子通信機器等借上料）、公会計財務書類作成（活用）支援業務、総合運動公園長寿命化計画策定業務等が増加したものの、公共施設等総合管理計画策定業務、総合庁舎耐震診断業務、臨時職員賃金（教委事務局費・一般管理）等が減少しました。

維 持 補 修 費 738 万円 (435 万円、37.1%減)

総合運動公園管理運営事業および保健センター管理運営費等に係る修繕費が減少しました。

扶 助 費 8 億 5,835 万円 (2,306 万円、2.8%増)

児童手当等が減少するものの、福祉医療費助成事業、自立支援給付費、保育所運営費等が増加しました。

補助費等 10億3,367万円(2,680万円、2.5%減)

東近江行政組合消防負担金、放課後児童健全育成事業委託料等が増加するものの、臨時福祉給付金、多面的機能支払交付金、日野川流域土地改良区負担金、環境保全型農業直接支払交付金等が減少しました。

普通建設事業費 4億6,007万円(6億7,287万円、59.4%減)

防災基盤整備事業(水防施設整備工事)、斎苑整備に係る八日市布引ライフ組合(斎苑)負担金が増加したものの、滋賀竜王工業団地の整備に係る事業費(対前年度5億5,943万円減)、畜産競争力強化対策整備事業(対前年度1億2,195万円皆減)等が減少しました。

主要事業

平成29年度一般会計当初予算については、「次世代に誇れる竜王町を創る施策」を力強く推進していくための予算としています。

特に、非常に厳しい財政状況であることを真摯に受け止めつつ、活力溢れる強いまちづくりに繋がる施策への集中、予算配分の重点化に取り組み、「町の活力を生む事業」、「定住に向けた事業」、「地域コミュニティの強化支援事業」および「子育て支援関連事業」に重点配分しています。

あわせて、これまでからの財政健全化の精神を踏襲し、将来を見据えた健全な財政運営にも取り組みます。しかしながら、本町の目指すまちづくりの実現に向けた各事業の実施に要する経費等について不足する財源確保のため、その一部を基金の取り崩しにより補てんし予算を編成しました。

「町の活力を生む事業」

- ・【Ⅰ】 <<新>>魅力ある農業創生事業 400万円
本町が誇る野菜・果樹・近江牛等の魅力ある農産物を真のブランドとして創生するための支援

- ・【Ⅲ】 竜王近江牛等特産品発信事業 210万円
町内の生産者、企業、関係機関、行政が連携し、「近江牛」を基軸にしたまちの特産品や歴史、文化などの地域資源を「スキヤキ」というキーワードで総集させ、まちの魅力の発信を行う。

- ・【Ⅰ・Ⅲ】 ふるさと竜王夏まつり事業・ふるさと文化振興事業 475万円
協働による町の活力事業への補助(竜王町夏まつり実行委員会・文化祭実行委員会への補助金)

- ・【Ⅲ】 ≪新≫ふるさと納税推進強化事業 176万円
「竜王町未来につなぐふるさと交産寄附金」がより多く寄附されるよう町内の特産品等のPRを行う。

「定住に向けた事業」

- ・【Ⅲ】 総合戦略推進事業 200万円
町民、在住者、在勤者等同士の交流機会を創出するため、移住・定住も目的としつつ広域連携で実施する婚活イベントや若者交産メンバー(RSNS)が企画運営するイベント開催
- ・【Ⅲ】 定住促進住宅新築・リフォーム助成事業 800万円
定住促進のための住宅新築およびリフォーム助成事業

「地域コミュニティの強化支援事業」

- ・【Ⅳ】 ≪新≫地域支え合いしくみづくりモデル事業 100万円
5年先を見据えた地域課題を洗い直し、地域の支え合いで解決できる仕組みづくりを検討するとともに持続可能という観点から地域コミュニティを強化する取組を支援

「子育て支援関連事業」

- ・【Ⅱ】 福祉医療費助成事業 1億697万円
中学校卒業までの医療費を10月から無償化することにとめない例年の予算に加えシステム改修等の準備経費も含めて計上
- ・【Ⅱ】 児童福祉総務費・一般管理費 10万円
≪新≫出生・出産への祝福と感謝の意を込めての祝品経費を新たに計上
- ・【Ⅲ】 子育て応援軽自動車購入助成事業 109万円
定住促進および子育て世帯の支援を目的に軽自動車購入の助成を行い、地域経済の活性化を図る。
- ・【Ⅱ】 生き抜く力を育む学力向上事業 1,277万円
(小・中学校管理費および教委事務局・一般管理費)
小学校および中学校において引き続き35人以下学級の完全実施
- ・【Ⅱ】 幼稚園・小中学校系統的英語教育推進事業 211万円
(教委事務局・一般管理費・幼稚園教育振興事業)
教育特区認定を受け実施している小学校3年生からの英語科学習

《新》幼稚園からの英語教育の推進

- ・【Ⅱ】家庭教育支援事業 19万円
家庭の教育力向上をさらに図るための経費を計上（教育フォーラム）

「その他」

- ・【Ⅱ】公共交通施策検討事業 50万円
地域交通における課題解決を図るための経費
- ・【Ⅲ】企業立地推進事業 104万円
町内の企業が活動しやすい環境づくりや企業誘致活動に要する経費
- ・【Ⅱ】防災資機材整備事業 99万円
災害時に備えて、資材、備蓄品を整備
- ・【Ⅱ】障害者総合支援対策事業 66万円
《新》医療的グループホーム等運営事業費補助金
- ・【Ⅱ】保育所運営費 2億3,348万円
保育所運営に係る負担金
- ・【Ⅲ】竜王インター周辺地区整備費 2億8,662万円
竜王インターを核にした周辺地区の交通拠点、工業団地や物流拠点へのアクセス道路の整備等
- ・【Ⅱ】道路橋梁整備事業 6,736万円
橋梁長寿命化修繕工事、町道舗装改良工事等
- ・【Ⅲ】総合運動公園管理運営事業 740万円
《新》運動公園内施設を計画的に持続させるため長寿命化計画を策定
- ・【Ⅲ】《新》「教育でキラリと光る竜王のまちづくり」自主公開推進事業 14万円
（学校教育振興事業）
本町における質の高い教育の現状を近隣市町はもとより広く県内学校園にアピール（自主公開）することで、「教育でまちづくり」の取組を発信する。
- ・【Ⅲ】《新》学校現場業務改善加速事業 400万円
教職員の勤務状況改善に向けた文部科学省委託事業の新規指定を受け効果的に事業を推進

※【Ⅰ】～【Ⅳ】は、第五次竜王町総合計画におけるまちづくりの考え方（基本理念）に基づいて分類しております。

【Ⅰ】：「豊かな自然と歴史を誇れるまちづくり」

【Ⅱ】：「みんなが安心して暮らせるまちづくり」

【Ⅲ】：「チャンスを活かすたくましいまちづくり」

【Ⅳ】：「町民と行政の協働により築くオリジナルのまちづくり」